

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： 定時制通信制陸上競技 専門部

策定日： 令和 3 年 5 月 6 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 大会参加予定校の20%以上の学校が参加を辞退した場合、大会は中止する。

2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会1週間前からの健康観察をチェックシートにより義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。
- ・ 大会当日に健康状況観察票とチェックシートを提出させ、「検温済」のラベルを配布する。ラベルを見えるところに貼っていない者は会場への入場を禁止する。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 会場において発熱が確認された場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- ・ 発熱者が新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属する学校は大会に参加できない。

- ・ 「新型コロナウイルスに感染している可能性」は、専門部長、もしくは専門部委員長と参加校顧問の両者により判断する。判断の材料として、発熱者の家族、学校関係者に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間以内に感染者がいないか確認をする。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 専門部規定に従い、参加料と学校分担金を支払う（返還なし）こととする。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 観客は、原則保護者のみとする。
- ・ 発声を伴う応援は禁止し、ソーシャルディスタンス1m以上確保する。
- ・ 緊急事態宣言下での大会については、観客を一切禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 競技中の選手を除き、全員マスクを着用する。（忘れた者には、専門部から配布）
- ・ 更衣室の利用については、制限人数（10人）を設け、常に換気して三密を避ける。
- ・ 手指用消毒アルコールを、入り口、ゴール付近等に配置する。
- ・ 非接触型検温計を用意し、入場者の検温を行う。
- ・ 看護師を常駐させる。
- ・ 食事は黙食を徹底し、ゴミについては持ち帰らせる。
- ・ 開会式・閉会式は行わない。
- ・ レース後の洗顔・うがい・手洗い・手指消毒を徹底する。
- ・ 選手が倒れた際の救護に当たる役員は、マスク着用に加えてフェイスシールドと手袋を着用する。
- ・ 記録情報処理の役員の間、アクリルパーティションを設置する。